

異常値報告基準の 変更と新設について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、パニック値(極異常値)基準の見直しを行い、一部の項目で基準の変更と新設を行うこととしました。

また、スクリーニング検査項目を中心に、前回値より大きく変動して一定基準を超えたものも新たにFAX報告を行うこととなりました。これには、何らかの異常を含み、受診者様への処置を行う可能性があると考えられるため、いち早くお知らせすることといたしました。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

■変更内容

- 詳細は裏面をご参照下さい。

■変更期日

- 2019年1月15日(火)受付日分より

■パニック値基準の変更と新設

●パニック値基準の変更

項目コード	項目名		性別	変更後	変更前	理由
1001	血液一般	赤血球数	女性	225 以下 (万/ μ L)	250 以下 (万/ μ L)	循環血液量 4 割喪失
		ヘモグロビン	男性	8.1 以下 (g/dL)	6.9 以下 (g/dL)	循環血液量 4 割喪失
1540	CPK(CK)		—	1000 以上 (U/L)	1500 以上 (U/L)	適正化

●パニック値基準の新設

項目コード	項目名	性別	新設		理由
1705	中性脂肪	—	1000 以上	(mg/dL)	急性疾患の可能性大
1833	マグネシウム	—	4.8 以上	(mg/dL)	ECG に異常所見
			1.2 以下	(mg/dL)	院内死亡率増大
1834	カルシウム	—	13.0 以上	(mg/dL)	重篤症状あり
			7.0 以下	(mg/dL)	重篤症状あり
1830	補正カルシウム*	—	13.0 以上	(mg/dL)	重篤症状あり
			7.0 以下	(mg/dL)	重篤症状あり
1836	無機リン	—	1.0 以下	(mg/dL)	重篤症状あり

* :これまで補正カルシウムは基準値を設定していませんでしたが、パニック基準値の新設に伴い、血清カルシウムの基準値(8.7~10.3 mg/dL)を報告書に表示いたします。

■前回値より大きく変動したものの FAX 対象項目

前回値からの大きな変動をFAXでお知らせする対象項目は次のとおりです。詳細な基準については弊社営業担当者へお問い合わせください。

なお、前回値との比較は、施設コード・ID・受診者名をキーとしています。IDが無い場合は対応できません。

項目コード	項目名	項目コード	項目名	項目コード	項目名	
1001	血液一般	赤血球数	1522	総ビリルビン	1544	アミラーゼ
		ヘモグロビン	1529	AST	1615	クレアチニン
		MCV	1531	ALT	1617	尿酸
		血小板数	1535	ALP	1822	HbA1c
1501	総蛋白	1538	γ -GTP	1834	カルシウム	
1503	アルブミン	1540	CPK(CK)	1838	血清鉄	